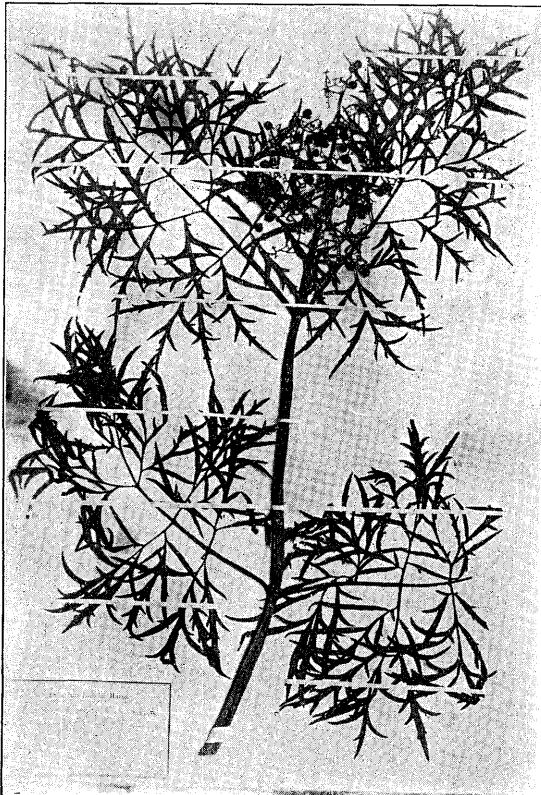
葉ハ稍疎ニ着キ大キク、長サ (2-)3-5 mm. 背面ニ深イ一條ノ溝ガアリ、緣部ニハ淡褐色ノ鬚毛ガ列生シテキル。殘念ナガラ花ハナカツタガ、去年ノ果實ガ殘ツテキテ、果梗ハ長サ 7-12 mm. アツタ。西ハばいかる地方カラ東ハおほつく・うすりー地方ニ分布シテキル種類デ、かむちやつか半島ニモ記錄ハアルガ誤リラシイ。工藤博士ガ *C. tetragona* トサレタモノモ同一ト思フノデ、樺太廳中央試驗所報告第一類第一號デ石山哲爾氏ノツケラレタ からふといはひげ ヲ和名トシテ採用シテオク。 (原 寛)

Cassiope ericoides D. DON in New Philos. Journ. XVII, p. 158 (1834).

Syn. *Andromeda ericoides* PALLAS, Fl. Ross. II, p. 56, t. 73, fig. 3 (1788).

Nom. Jap. *Karafuto-iwahige.*

Hab. Saghalien: in Experimental Forest of Kyushu Imperial University.

(H. HARA)

はごろもえぞにはとこ

○はごろもえぞにはとこ

(*Sambucus Buergeriana* BLUME var. *lacera* NAKAI) 1891 年故 FAURIE 師ガ北海道札幌附近デ發見シテ以來久シク採集家ノ目ヲ逃レテキタガ數年前王子製紙會社山林部ノ富本豐氏ニヨツテ膽振國、白老郡、敷生村ノ社有林内デ見出サレタ。細カク切レタ葉ハ、ソノ帶黃白色ノ花或ハ紅色ノ果實ト相俟ツテ頗ル美事デアル。現在デハ虎杖濱ヘ移植サレ大切ニ保護サレテキル。 (原 寛)

○さはをぐるま

飯沼慾齋翁ハ草本圖說ニさはをぐるまトをかをぐるまヲ區別シテ圖解シタガ、牧野博士ガコノ兩者ヲ同一デアルトサレテカラハズツトソノ樣ニ考ヘラレテキタ。併シ最近筆者ハコノ兩形ガ可成リ異ツテキル事ニ注意ヲ惹カサレタ。さはをぐるまノ基本形ハをかをぐるまニ比シ水分多イ所ニ生エ全形壯大デ葉ハ細長ク、莖上葉ハ數多ク、花ノ數モ多ク、總苞ノ綿毛ハ少イ。

花期モ遲ク時ニ八月頃開花シテキルノヲ見受ケル。ケレドモソレダケデハさはをぐるまハをかをぐるまノ生態的一形ニ過ギナイト斷定サレテシマツテモ仕方ガナイシ、又以上ノ性質ガ明カデナイ形ノモノモアル。併シ兩者ヲ區別スルモウ一ツノ差異ハ、をかぐるまノ瘦果ハ常ニ有毛デアルノニ、さはをぐるまデハ全ク無毛ナ事デアル。瘦果ノ性質ガ重視サレル菊科デハコレハ可成リノ違ヒト認メテヨイデアラウ。さはをぐるまヲをかをぐるま(*Senecio integrifolia* (L.) CLAIRVILLE) ノ變種トスルカ別種トスルカハ人ニヨリ意見モ異ルデアラウガ、兎ニ角兩者ガ同一デナイ事ヲ讀者ニ御知ラセスル。別種トスレバ學名ハ *Senecio Pierotii* MIQUEL ヲ採用スレバヨイト思フ。尙をかをぐるまモ隨分形ガ變リ、殊ニ冠毛ノ長サハ時期ニモヨルガ可成リ違フモノガアル。 (原 寛)

話ノ種(學名ヲ數ヘタ話)

日本產植物殆ンド全部ガ載ツテ居ルト云フ牧野•根本兩氏著日本植物總覽ハ日頃我等植物仲間ノ机上ニハ無クテカナワヌ本ノ一ツトナツテ居ル事ハ此處ニ更メテ申ス迄モ無イ事デアル。サテ私ハ或ル日ツレヅレナル儘下宿ノ3階ニ寢コロンデペラペラトコノ本 (第2版) ノ頁ヲメクツテ居タノデアル。所ガ種名ヤ變種名ヲ見テ行クト japonicus トカ formosanus 等ト云フ樣ナノガ非常ニ頻繁ニ出テ來ル。コレハ一寸數ヘテ見タラドンナモノダラウト、ソコハソレ持前ノ統計まにやト來テ居ル、退屈ナ時間 (精神的失業時トデモ申シマセウ) ヲ見ハカラツテ數ヘ上ゲテ見ルト次ノ樣ナ事ニナツタ。アマリ大シタ事デモナイガ少シバカリ紙面ヲ拜借スル事ニシタ。尤モ正確サニハ相當自信ガアルノデ若シオ疑ヒノ方ハ一寸數ヘ直シテ見テ下サイ。御承知ノ樣ニ種名ニナツタ形容詞ハソノ屬名ノ性ニ從ツテ男、女、中ノ何レカノ性ニ語尾ガ變化シテ居ルガ此處デハ全部男性語尾ニ直ホシタ。

1) 先ヅ第一ニ總數 9,200 幾ツト云フ種名ニ用ヒラレタ單語ハ 4262 通リデアツテ、ソノ中3111 ハ唯一回宛シカ現ハレナイ。2回ノモノハグツト減ツテ 472, 3 回ノハ 200通リト云フ具合。最モ多ク出現スルノハ japonicus (日本ノ) デ 299 回、ツマリ 100 種ノ植物ヲ扱フト3種ハ japonicus ト云フ名ガ付イテ居ル勘定ニナリ、サスガハ日本ダト感心スル、次ニ 30 回以上現レル語ヲ擧ゲルト次ノ通リ : formosanus (臺灣ノ) 197, nipponicus (日本ノ) 74: chinensis (支那產ノ) 68; Kawakamii (川上氏ノ) 46: arisanensis (阿里山ニ產スル) 42; indicus (インドノ) 40; boninensis (小笠原島產ノ) 35: Tashiroi (田代氏ノ) 33; vulgaris (普通ノ) 33; Fauriei (フオーリー氏ノ) 32; liukiuensis (琉球產ノ) 31; kiusianus (九州ノ) 30。

2) 種名ハ大抵形容詞デ造ラレルガ、時ニヨルト古イ屬名ヤソノ植物ノラテン名、ギリシヤ名又ハ各地ノ土名ヲソノマヽ又ハ少シ變ヘテ使フ事ガアル。コンナノデハ同ジモノガソウザラニ出テ來ル事ハナイ、セイゼイ2回位デアル。コレガ 387 通リデ 399 回現ハレル。數デハ全體ノ僅カ4分ニシカ當ラナイ。

3) 人ノ名前ノ語尾ヲ細工シテ種名トスル事ハ非常ニ屢々行ハレルモノデアツテ全數ノ1割5分ヲ占メテ居ル (652 通リ 1417 回)。ソノ中 -ii 又ハ i, 或ハ -e (a デ終ル時) ヲ付